

評価とは、人を育てること

先日、「ゴルフコンペで一緒にになった4名は偶然にも全員が工場経営者」「製造」という意味では同じですが、原料・加工・技術・製品のすべてが異なる種の工場だったので、お互いの工場を見学することにしました。業種は違っても工場ならではの悩みは共通していて、性別・学歴・職歴・国籍など幅広い人たちが働いているからこそ、評価や育成が難しいという話題になりました。一ノ坪製作所でも人事評価制度の再構築

業に取り組み中で「評価は何のためにあるのか」を常に考えていました。評価の内容そのものではなく、結果である昇格やお給料に目が向いてしまいがちですが、もっと長期的な目線で考える必要がありますよね。仕事を日々忙しくこなしていること、つい流されてしまうこともありましたが、本人がなりたいたいビジョンが大事です。部下の苦手な部分を改善していくために上司はどうすべきか。仕事で優秀をつけ

るのではなく、一緒に育てること。つまり、愛情をもって、その人の評価をすることは「人を育てること」に行き着くと思います。そして、育成の時には、技術力や専門性を上げるサポートをすることも大切ですが、でも、「お給料が上がるから」「上司に言われたから」というような外部からの動機づけではなく、本人が素直にやりたいて感じる「内発的動機」につながる育成を心がけていきたいです。私の役割は仲間同士が良い影響

を与え合える場づくりをすることでしょうね。引き続き、頑張ります。今号でご紹介したバイプレーヤー搬入のため、みんなが自発的に工場を改修してくれました。自分たちの働く場所だからこそ、自分たちで働きやすい環境を作るんだという雰囲気は「これぞ、製造業の本来的楽しみ方だな」と私も原点に立ち返りました。皆さん、今年もありがとうございました。

イチのツボ!

いの一にお届けしたい、一ノ坪製作所の「こんなこと」。
ツボコミ史上初のクリスマス号をお届けします♡
(クリスマスらしさは、ないですけどね……!!)

本社工場で 協力工場会を開催

製造部 生産管理 安村 貴洋

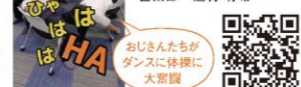
リアルにお会いできるのは嬉しいですね。



「つながりを力に変える」という今期の事業方針から毎月1回、協力工場様とNPO3を使って、各部門のリーダーが司会を行い、部門紹介や取り組み事例などを共有していました。11月は本社工場の見学を兼ね、リアル協力工場会を実施しました。これからも相互研鑽を出来る関係性でありたいと思います。

TikTokでのおっさんず(当社TikTok出演チーム)の活躍をSNSメディアにて、取り上げていただきました。今後とも、当社の魅力を採用活動にお客様従業員ご家族に向けて発信していきますよ、是非フォローしてください!! 追伸・フォローワー2000人を超えたので、管理部長との約束で焼肉へおいしくいただきました。

**TikTokの
フォロワーが
2500人を突破か?
(目指せ目標10,000人!!)**
営業部 辻村 有希



奈良ならでは!? 奈良の木とコラボ 研究開発部 清原 乃介



奈良県の興立高校45校へ、210台の電子黒板用スタンドを納入しました。入札の為、価格は厳しかったものの、奈良県でスタンドを作っている会社としては是非とも、受注したかった案件でした。嬉しいですね!!



荒井知事さん、ICTを進めてくれて感謝です!

NEWS!

展示会に 「つながるステーション」出展

営業部 福田 俊介
商品を見ていただくことで、カタログでは説明できない使用した際の「こと」を伝えられました。webで展示会場から本社の架き、本来の使い方方を体験。まさにこれが「つながるステーション」
ご希望の方には、出張説明会も行います!



「つながるステーション」 デモ設置実施中

営業部 辻村 有希
京都産業大学さんにつながるステーションを設置してもらいました。当社の製品は、デモ機の貸出を行っておりますので、お気軽にお問い合わせください。



ディスプレイ& Kaniスタンド寄贈

管理部 野戸 久博
滋賀県立甲南高等学校にディスプレイ&Kaniスタンドを寄贈しました。学校行事や授業などで有効に活用していただいております。同校とはインターシップを通じて交流があり、ものづくりを通して、地域貢献を図っていきます。



「つながりを力に変える」
協力工場会も元気に実施中です。

ツボコミ

Vol.17
2022
X'mas



ヤマザキマザック株式会社
FT-150 FIBER

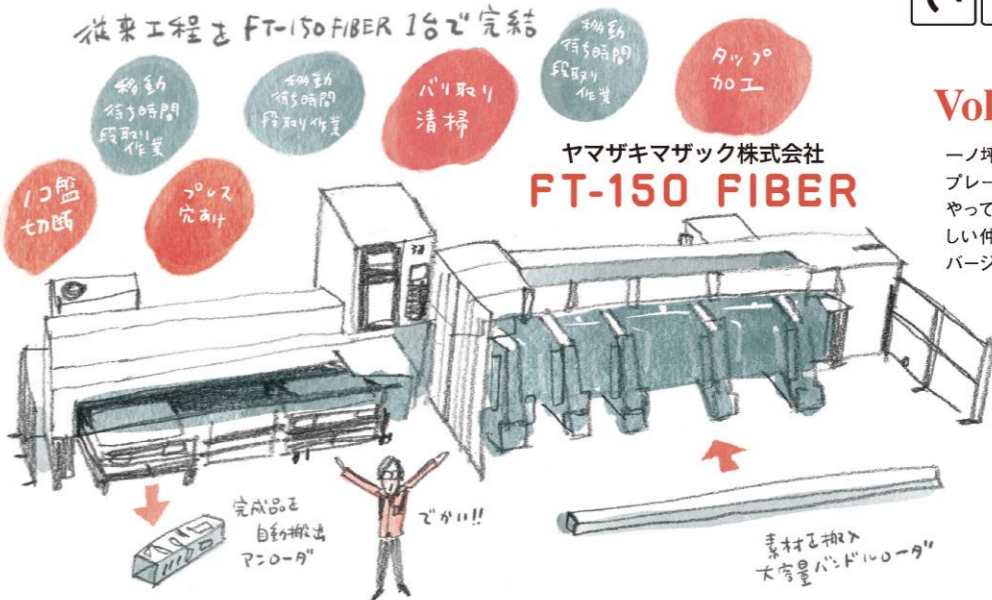
一ノ坪製作所の未来を担う「パイプレーザ」がついに本社工場にやってきました。大きくて頼れる新しい仲間を、ドーンとスペシャルバージョンでご紹介します。

案内人

本社工場
板金溶接グループ
リーダー

吉川 安司

2年前からパイプレーザの導入を検討しはじめ、見事なプレゼンで社長にGOALを決めた実力者。



案内人の目

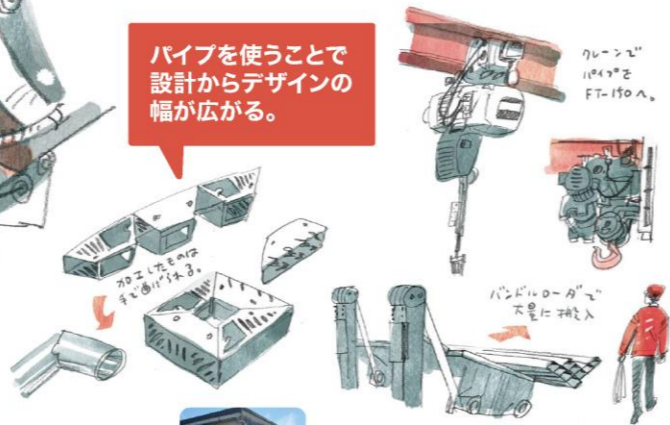
機械が大きいため、当初は工場を拡張して設置する予定でしたが、拡張ができないということがわかり、現状の限られたスペースの中でレイアウトを考えなければいけませんでした。スペースを確保するために、階段を外に出すなど、工場内を数カ所改修しています。いろいろなメーカーのパイプレーザを検討し、最終的にサービスが決め手となり、日本製のヤマザキマザックのパイプレーザを選びました。



導入目的

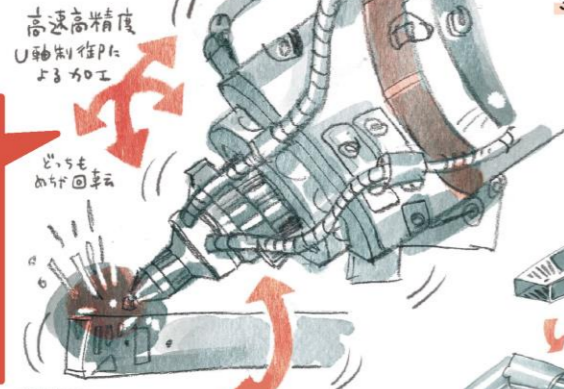
1. 顧客ニーズの多様化による特注品や短納期に柔軟に対応するため
2. 加工方法の置き換えにより、商品力UP (機能、美観向上)
3. 将来の新製品開発に対応するため 期待してください!

パイプを使うことで設計からデザインの幅が広がる。



パイプレーザの
ココがスゴい!

自由自在の加工が可能。
3次元ヘッドにより



ファイバレーザによる高速切断
がバツグン。



パイプレーザの搬入が完了!



工場内にスペースを確保 (床の塗装も行いました)



外階段完成!



クレーンで階段をトラックから降ろしています



外階段を設置する前の様子

